

♪☆第10回☆「カフェ 183 チャリティライブ」ぶらり訪問記♪

2020年8月19日(水) 15:00開演(40分終了) 会場:カフェアパートメント 183
主催:一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団(キッズファム財団)
出演:東京アコーディオン研究会(あこけん) / 磯部・鎌田・村上・百瀬(有志4名)
配信場所: Café Apartment183

通称(あこけん)の仲間からライブ配信演奏のお知らせを頂きました。コロナ禍の中、アコ仲間の生演奏を聴く機会がなくなりましたので、これからの活動に、何か参考になるのではないかと楽しみに出かけてみました。

会場は、小田急線「成城学園前」駅からバスで10分ぐらい。バス通りを挟んで、国立成育医療研究センターと向かい合ったレストランなので、一般客が飲食しながらくつろいでいる中での演奏でした。

主催者によると、「カフェ 183 チャリティライブ」は、隔月で(第3水曜日)開催していて、新型コロナウイルスの感染が広がる以前は、重い病気を持つ子どもと家族もステージの前に設けた席で一般客と一緒に生演奏を楽しんでいたとのこと。ですが、前回の6月からは、子どもと家族への感染を避けるためにライブ配信に切り替えて、子どもと家族は自宅などで都合のよい時間に動画で鑑賞していただく方針に変更したとのことでした。

さて、配信の様子ですけれども、写真のように、三脚にスマートフォンを取り付けてステージを写して、FacebookLIVEで生配信し、その画像を傍らのノート型パソコンで確認していました。ライブ時に同時鑑賞できる方は少ないので、後でも楽しめるように編集した動画をウェブサイトアップするとのこと。司会進行は、主催者が担当していました。

《カフェライブへようこそ》司会:キッズファム財団事務局 五嶋くみ子さん
キッズファム財団では、重い病気を持つ子どものケアを日々担っている家族を支援、また、子どものケアに関わる人材の研修、あるいは情報と交流の場を提供したり、支援の輪を広げるための啓発活動等を行っています。

多くの方からのご寄付で活動を続けているので募金箱を置かせていただくこともありますが、今回は用意しておりません。かわりにウェブサイトのご案内をさせていただきますので、そちらからご寄付を頂けると幸いです。

前回からライブ配信を始め、きょうは2回目になります。お子さんやご家族の方はご家庭などでご覧いただいていることと思います。



待ちかねていることと思いますので、早速本日の演奏者を紹介致します。

1963年創立のアマチュアのアコーディオンサークルで、長い間「あこけん」の愛称で親しまれています。昨年の8月に続き2回目のカフェライブとなります。本日は独奏やデュオで「魅惑のワルツ」「帰ってきたツバメ」「松本零士メドレー」など演奏してくださいませ。15時40分終了の予定です。ではお楽しみください。

《演奏の様子》



最初の演奏は、(あこけん)の発表会でしばしば使われる、テレビの料理番組で耳にした記憶がある「キューピー3分クッキング」のBGMで、軽やかな懐かしい曲です。(原曲は、おもちゃの兵隊のマーチ)重奏の後ろで、お玉を持っての踊りが付いていました。

2曲目、独奏

「魅惑のワルツ」



村上さん

3曲目、独奏

「帰ってきたツバメ」



磯部さん

4曲目、独奏

「冬の花」(「後妻業」の主題歌)



百瀬さん

5曲目、ペープサート

「ニワトリのポルカ」



磯部さん・鎌田さん(ペープサート)

6曲目、独奏

「七つの子」



村上さん

ここで、ボタン式アコの音階の配列についてお話

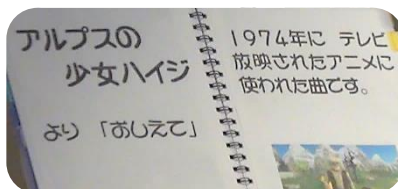


白いボタンは白鍵で、黒は黒鍵になるとの説明でした。

7曲目、独奏

アルプスの少女ハイジより「おしえて」

※独奏者の横に置かれた譜面立てには、それぞれ、演奏する曲名と簡単な解説が書かれていて、配信先では拡大した画面で見ることができます。「おしえて」の例▶



8 曲目、独奏

松本零士メドレー

「宇宙戦艦ヤマト」「銀河鉄道 999」



百瀬さん

最後の曲目、重奏（2 曲続けて）

「パンパの花」「チロリアンワルツ」



鎌田さん・磯部さん

《 主催者あいさつ 》

3 分クッキングで始まり、アニメソングやチロリアンワルツ、いろんな曲を演奏していただいてとっても楽しい時間でした。観ているお子さんたちご家族の皆さんも楽しんで頂けたことと思います。次回は 10 月になりますけれども、また近くなりましたらご案内いたします。私たちもいろんな形でこれまでとは違う活動をしていきますけれども、もしよろしければご寄付の方も頂けたら幸いです。財団のウェブサイトでアクセスをしていただきまして、募金のページに行っていただけだと思います。本日はありがとうございました。（キッズファミ財団理事 大川周二さん）



☆出演のきっかけは・・・後日、「あこけん」に伺ったところ、メンバーに財団の事務局に関わっている方がいて、「病気や重い障害を持っている子どもたちに、生の音楽に触れて楽しんでもらいたい」というチャリティライブの趣旨にあこけんも賛同し、昨年 8 月に初めて参加したのが出会いです。また、アコーディオンの音色や楽器にも親しんでもらおうと、プログラムにも工夫しました。とおっしゃっていました。

《感想》・・・お店の中は、店員がお客同士の間を空けて座るように案内しているので、混雑することはなかった。偶然午後 3 時ごろレストランを利用したら、アコーディオンで生演奏していた。お客さんはそんな感じだったように思えた。タブレットを上げて何か作業している方、友達とおしゃべりしている人たち、でも、曲が終わると拍手する人も多かった。曲に合わせて身体を動かす方たちもおられました。終了後、楽器を抱えて音を出してみるお客さんも見られました。「あこけん」の皆さんも、ライブ配信での演奏は初めてだそうですけれど、いま演奏の機会を持てることはとても貴重だと思いました。
(文責：編集部)

※関心のある方は「キッズファミ財団」で検索すると動画でご覧になれます。